

独演劇

坂本長利 米寿記念公演

土佐源氏

民俗学者・宮本常一著『忘れられた日本人』に収められている『土佐源氏』は、著者が昭和16年の冬に高知の山奥で出会った盲目の老人の生涯を聞き書きしたもの。「色懺悔」という言葉ではおさまりきれない、ひとりの男の愛と性の一代記を、坂本長利が独演劇化して昭和42年に初演。

昭和60年には紀伊國屋演劇賞特別賞を受賞、87歳の今も舞台上に立ち続け、上演回数は国内外で1170回を超える。

平成28年

11月15日(火) 開演 19時

会場 座・高円寺2 料金 全席自由 4,800円



TOSAGENJI

お問合せ

響和堂 | Tel. 080-4200-0808 / Fax. 03-3610-5740
E-mail info@kyowado.jp

照明: 吉川貴昌 / 音響: 袴田康裕 / 舞台監督: 武川喜俊 / 宣伝美術: 早川宣誉
協力: 福地達夫 永富衛 亀谷和彦 / 制作デスク: 石倉浩子 / 企画制作: 仲村映美
主催: 響和堂



坂本長利

SAKAMOTO Nagatoshi



1929年(昭和4年)、島根県出雲市生まれ。

「ぶどうの会」「変身」等の劇団を経て、小劇場運動の先駆けとして活動。大劇場での商業演劇公演も含め、映画・テレビ・ラジオドラマなど、あらゆるシーンでその演技力と存在感を発揮してきた。60年以上の芸歴の中で、数多くの名だたる俳優と共演し、作家・演出家からも高い評価を得ている。テレビドラマでは『Dr.コトー診療所』の村長役で親しまれた。2013年公開坪川拓史監督映画『ハーメルン』では西島秀俊、倍賞千恵子らと共に主演。代表作である独演劇『土佐源氏』は、1967年の初演以来49年間、国内のみならず海外でも絶賛され、現在1170回を超える上演回数を伸ばし続けている。2011年の胃ガン手術後も精力的に舞台に立ち続け、呼ばれたら全国どこへでも出掛けて上演する「出前芝居」を行っている。ほかに、作家・水上勉が坂本の独り語りのために書き改めた『越前竹人形』も展開中。本公演は、数えて88歳となる米寿記念公演として開催するものである。

チケットのお申込み (インターネット・Fax)

料金 **全席自由** 4,800円

当日18時より先着順に入場整理券を配布、18時30分より開場。

響和堂

HP. <http://kyowado.jp> / Fax. 03-3610-5740

Faxでお申込みの場合は、お名前・ご住所・Fax番号・ご連絡先電話番号チケット枚数を明記の上、ご送信ください。

お申込み受付期間は、11月10日(木)迄です。以降は電話にてお問合せください。

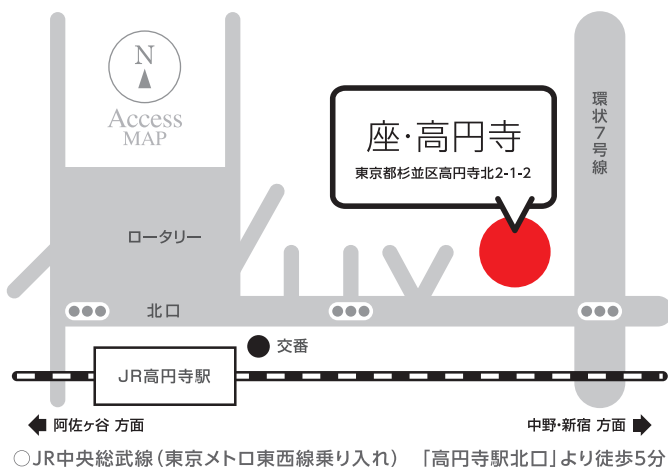
※未就学児のご来場はご遠慮ください。

お問合せ

Tel. 080-4200-0808

E-mail. info@kyowado.jp

『土佐源氏』『越前竹人形』の公演依頼ほか、朗読会等についても、お気軽にご相談ください。規模の大小に関わらず「出前芝居」を承ります。



坂本長利 米寿記念公演

独演劇

土佐源氏

坂本さんにお目にかかっていると、突然ある気合いに打たれることがあります。「自分の好きなことをして生きているのだから、世間並みの仕合せなどむろん望みはしないし、いつでも野垂れ死にしてもかまわない」という覚悟が、静かに、動く伝わってくるのです。この気合い、この覚悟が、たとえば「土佐源氏」への凄烈なこだわりにあしらわれていることは申しあげるまでもありません。

井上ひさし